



住まいるニュース

2017
8
vol.81

今月の特集 ■ 子育てから同居まで

子育てから同居まで、 生活リズムと家づくり

子供に正しい習慣を身につけさせたり、夫婦の対話や親との同居を円滑にしたり。家族それぞれの生活リズムを整えるには、家づくりにもできることがあります。

■ 子育て世帯の生活リズムは、リビングを中心に考えよう

早寝早起きから歯磨きやお風呂まで、子育て中のご家庭では規則正しい生活が欠かせません。一方では仕事で帰りが遅くなったり、2世帯同居では寝起きや食事の時間が親子で異なったりと、家族と一緒に暮らすことで直面するのが生活リズムの問題です。個人の心がけて配慮することもできますが、なるべく無理はしたくないもの。遠慮や気遣いを減らしながら上手に暮らすためには、家づくりにもできることが多くあります。

家族と一緒に過ごしたがる小学校低学年までの子供には、リビングの活用を積極的に検討しましょう。大きなテーブルを用意し、大人が家事をしている間に宿題を済ませさせたり、おもちゃで遊ばせるのもよし。ちょっとした子供スペースを作り、片付けや整理整頓までを担当させると責任感が育ちます。家族やお客様との会話を通じてコミュニケーションが生まれ、お互い目が届く距離にすることで大人も安心できますね。

子供部屋に明るい朝日が入ったり、お風呂が広々と快適で喜んで入れるといったことも規則正しい生活につながります。就寝前はテレビやスマホを避け、照明を落とす習慣を。間接照明を導入するのも良いでしょう。光の刺激を調節

して環境を整えることが、生活リズムを整えることにつながります。

子供が思春期に差し掛かったら、プライバシーを尊重しつつ見守ることが大切。個室は勉強に集中できる環境を保ちながらも過度に充実させず、あくまで生活の中心をリビングに据えて家族のルールを守りましょう。

■ 2世帯住宅は水回りがポイント、生活空間は分けてから繋げる

2世帯住宅では親子で互いに身についた習慣の違いが表面化しやすく、特に配偶者の親とは程よい距離を保ちたいもの。生活リズムを衝突させないためのポイントは水回りにあります。洗面所や

トイレを別々とするれば、慌ただしい朝やリラックスしたい夜も快適。予算に合わせてキッチンや浴室も分けることができれば、さらに独立性が高まります。その上で共有スペースを設け、家族の対話や子供とのふれあいを図りましょう。部屋の用途を明確に分けた上で再び繋げることは、優れた住宅設計の大切な基本のひとつです。

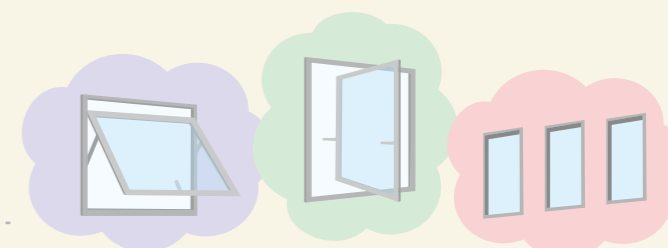
2世帯住宅のメリットには相続や贈与のしやすさも挙げられます。「FPの家」は経年劣化がほとんどなく資産価値を保てるから、親から子へ住み継ぐにもぴったりの住まい。遮音性にも優れ、様々な家族がストレスなく一緒に暮らすにも向いています。



住まいの知恵袋

窓の開き方

同じ面積でも開き方で大きく印象が変わるのが窓の面白いところです。最も一般的な引き違い窓は扱いやすく低コストである反面、雨が入りやすい弱点も。縦滑り出し窓は風を取り込みやすく、横滑り出し窓は庇代わりに雨を防げるのが特長です。開閉できない窓ははめ殺し窓またはフィックス窓と呼び、眺めや採光の確保などに。位置を決める際は掃除のことも忘れずに配慮しましょう。



ベランダや庭に面して設け、出入り可能な大きな窓は掃き出し窓と呼びます。屋外との開放感を演出するには折れ戸窓を一杯に開け放てばリビングからテラスやデッキと連続させることができ、広々としたスペースでパーティや家族のひとときにも向いています。



DIY

吊り棚

空間を有効活用して収納力をアップできる吊り棚はキッチンや洗面所などでも大活躍。重量があるため、天井や壁に取り付ける場合は表面の石膏ボードではなく下地にビスで確実に固定しましょう。ホームセンターなどで市販されている専用の下地探し器具を用いると便利です。吊り棚を自作する際は天井への取り付け作業を考慮して棚板は事前に固定せず、棚受けを

用いて最後に設置します。インテリアを軽快に演出するなら、天井や壁にフックを取り付け、ロープを用いて棚や収納をぶら下げるアイデアも。棚板に穴を開けてロープを通し、長さを適宜調節して確実に結びます。あまり重いものは不向きですが、小物や植物などを飾ると良く映えますよ。



おカネの豆知識

家財保険

一般的に火災保険の特約となる家財保険の範囲は広く、災害や事故・盗難のほか、幼児が家電を壊した場合、外出中の所持品や衣服の破損まで補償する商品もあります。家財の評価額は主に年齢と家族構成から算出され、夫婦と子供の世帯では1,000万円を超えることも。家計に応じて保険料を調整しましょう。



暮らしの1 POINT

暑中見舞い

暑中見舞いを送るのは一般に梅雨明けから立秋の前日までとされ、今年は8月6日まで。以降は暦上は秋となるため、残暑見舞いに切り替えて8月末日に間に合わせます。お中元のお礼のほか、暑い季節に相手の健康や安否を気遣うのが本来の使い方。心遣いの一言を添えて適切な時期に送ると好印象ですよ。



Dr. 住まいる

庭の雑草対策

夏は雑草の成長が早く、暑い中で処理するのは一苦労。小さい間に根こそぎ抜くのが基本ですが、除草剤以外では熱湯や茹で汁で枯らす方法もあります。予防としてはグランドカバーと呼ばれる背の低い植物を植えるのが有効。なお、塩を撒くのは花・野菜や建物への影響が大きいため避けるのが無難です。

